

2018年6月22日（金）

News Release

各 位

司法書士法人山田合同事務所
（山田グループ）

株式会社アイティフォー様と住宅ローンにおける「登記支援システム」を共同開発～ ～銀行の登記事務作業の効率化とペーパーレス化を目指す～

司法書士法人山田合同事務所（神奈川県横浜市、代表 山田晃久）を中核とする山田グループは、株式会社アイティフォー（東京都千代田区、代表取締役社長 東川 清）様と、「登記支援システム」の共同開発を行うことを本日発表します。登記支援システムは、銀行が住宅ローンの融資実行をする際に必要な登記手続きを支援するシステムで、株式会社アイティフォー様の個人ローン支援システム「SCOPE（スコープ）」と連携することでシームレスなデータ連携が可能となり、司法書士への登記依頼手続きを円滑に進めるものです。同システムの導入により、紙を無くしてデータ化することでペーパーレス化を実現し、銀行の事務作業を効率化。さらに顧客、銀行、司法書士間で、登記の進捗状況をシステム上で共有、確認することが可能となり利便性が向上します。

◆住宅ローン業務の事務作業の負荷が課題に

個人融資の強化が各行共通の課題となっている中、山田グループでは、住宅ローンの実行に必要なとされる抵当権設定などの登記業務に関して、銀行と司法書士事務所との事務作業をさらに効率よく迅速に登記を行えるようにするための自動化された仕組み作りが必要ではないかと感じていました。株式会社アイティフォー様は山田グループのシステム構築を担当されており、金融ソリューションシステムのプロフェッショナルとして豊富な実績と知見を有していることから同社との共同開発が合意に至ったものです。

◆データ共有で業務効率化とペーパーレス化、進捗状況の可視化を実現

今回共同開発する登記支援システムは、銀行と司法書士事務所とのデータ共有を目指すものです。同システムを通して銀行と司法書士事務所側においてデータが共有されますので、業務の効率化、スキャナーを使用したペーパーレス化の実現により、業務負荷は軽減されます。さらに、登記手続きの進捗状況は銀行側において常に把握が可能となりますので、優先順位の高い案件は急ぎの依頼をするなど柔軟な対応を実現します。

◆山田グループのノウハウの活用

登記支援システムは、山田グループのノウハウと総合力を活用することで業務効率化のみならず、様々なシナジー効果が期待できます。山田グループでは、登記事務所や金融機関の経験者など専門知識の豊富な人材の派遣、融資金を安全に決済するエスクロー機能、融資実行後の債権管理・回収（サービシング、バックアップサービサー）などの機能を有しており、これらをワンストップで提供することができる強みを活かし、住宅ローン業務の支援を実現します。
